

平成30年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	34	学校名	県立茨城東高等学校					課程	全日制		学校長名	坂本 雅彦					
教頭名	片岡 一郎										事務(室)長名	添田 裕由					
教職員数	教諭	35	養護教諭	1	常勤講師	2	非常勤講師	5	実習教諭, 実習講師, 実習助手		1	事務職員	2	技術職員等	4	計	53
生徒数	小学科		1年		2年		3年		4年		合計		合計 クラス数				
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	普通科		67	57	59	60	60	72			186	189	12				

2 目指す学校像

<p>「夢・希望・自己実現」のテーマの基に</p> <p>(1) 新たな夢・目標を常に持ち続け、自己の可能性を伸ばす。</p> <p>(2) 基本的な生活習慣を確立し、基礎学力を向上させ、進路希望の実現を図る。</p> <p>(3) 気力・体力・忍耐力を養い、社会に必要とされる人間の育成を図る。</p>
--

3 現状分析と課題 (数量的な分析を含む。)

項目	現状分析	課題
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 学校設定科目「ベーシックトライ」における電子黒板の活用と反復学習が奏功し、基礎学力の向上が見られた。 学習に苦手意識を持ち、学習習慣が身に付いていない生徒がいる。 学習に対する目的意識が希薄で、目標設定がなされていない生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板及びタブレット型パソコンの利活用。 日頃からの教材・指導法の工夫改善による、分かる授業・達成感の持てる授業の実践。 家庭学習の習慣化を図る。
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 学校設定科目である「キャリアデザイン」と「ベーシックトライ」を導入した効果が表れており、進路未決定者が減少傾向にある。 学校紹介を希望する生徒の内定率は100%である。 進学者の入試方法は、推薦入試やAO入試の利用が多いが、近年センター利用入試や一般入試で私立大学を受験し、合格をする生徒がでてきている。 平成29年度の公務員合格者は、自衛隊(3名)である。 全体の10%弱が未定者を含む在家である。 	<ul style="list-style-type: none"> 「キャリアデザイン」の実施について、年次ごとの目標を明確にし、3年間を見通したより計画的・系統的な指導になるようにする。 就職希望者の割合は毎年約50%強であるが高い内定率を得ている。今後も早期からの就職に対する意識付けと面接指導等を行う。 主に大学進学希望者等を対象とした課外や個別指導の実施と模擬試験等の活用をより充実させる。

生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> • 基本的な生活習慣の確立において援助を必要とする生徒が目立ち、遅刻数が増加している。 • 全職員一丸となって遅刻指導や服装頭髪指導など身だしなみの指導に当たっている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 生徒の規範意識の高揚、基本的な生活習慣の確立をめざす指導を徹底する。 • 生徒指導においては、教員一人で抱え込まずに組織的な指導体制を構築する必要がある。 • スクールカウンセラーの積極的活用による教育相談体制の充実、強化を図る。
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> • 部活動加入率が約35%であり、運動部では、本校単独での大会出場が難しい状況ではあるが、運動部ではどの部活も上位大会出場などの目標を掲げ、毎日練習に励んでいる。また、文化部においても、上位大会出場を目標にし、創作活動を継続的に熱心に行っている。中でも写真部は、茨城県高等学校文化祭において入賞し、4年連続関東大会に出場した。 • 生徒会及び常任委員会は、生徒が主体的に活動できるよう指導にあたっている。 • 自然環境保全活動団体「We are 潤沼っ子！」の設立により、校内外において、ボランティア活動等を実施し、地域社会の一員としての自覚や奉仕の精神を培っている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 部活動加入率45%を目指し、部活動を奨励するとともに、一層の指導の充実を図る。 • 常任委員会は、月1会程度の活動を実施し、生徒が活躍できる場所と機会を増やす。また、一部の委員会活動に偏らないようにする。 • 校内外において、ボランティア活動や体験的な活動を奨励し、地域社会とのつながりとともに一人一人の心の成長を図る。

4 中期的目標

- (1) 健全で調和のとれたたくましい人間育成のため、規範意識の高揚と基本的な生活習慣の徹底を図り、道徳教育の確立を図る。
- (2) 確かな学力を身に付けるため、自発的な学習態度や家庭学習の習慣を身に付けるための指導法を改善し、基礎学力の向上を図る。
- (3) 生徒の進路意識の高揚を図るため、キャリア教育を充実するとともに、ガイダンス機能を充実させ、進路指導体制の確立を図る。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
(1) 進路実現に向けた教育活動の充実を図る。	<p>① アクティブスクールの利点を生かした取組のさらなる充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「ベーシックトライ」の効果的な実施，ICT機器の有効な利活用，習熟度別授業等により基礎学力の向上と定着を図る。 ・ 「キャリアデザイン」をはじめ，あらゆる機会を捉えてキャリア教育の充実を図り，望ましい職業観・勤労観を育成する。 <p>② 生徒の実態に即し，生徒が分かる授業を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ チャイムスタートによる1分を大切にす授業を実践する（チャイム着席指導の徹底）とともに，家庭学習の習慣化を促す。 ・ 相互授業参観や校内研修等を実施し，教員相互の資質・指導力の向上に努める。 <p>③ 一人一人の進路希望に添った指導を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3か年を見通した進路指導計画を作成し，確実に実践する。 ・ 各種資格取得に向けた取組を支援する（一人一つ以上の資格取得を目指す）。 ・ 模擬面接指導，各種模擬試験，課外授業等を定期的実施する。 ・ 進路に関する情報を学校全体で共有し，生徒・保護者に正確かつ速やかに提供する。
(2) 道徳観・倫理観を育成し，豊かな人間性を培う。	<p>① 「ダメなものダメ」という厳しい態度とともに，生徒に寄り添う姿勢で指導に当たる。指導は共通理解のもと教職員全体で行う。</p> <p>② 生活の自己管理能力を涵養する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的生活習慣を確立させる。欠席をしない，身だしなみを整える，あいさつを励行する，時間を守る の徹底を図る。 ・ 礼儀や言葉遣いなど，基本的なマナー及び公共マナー・交通マナーを身に付けさせる。
(3) 学校行事や部活動を通して学校生活を充実させる。	<p>① 部活動への興味・関心を高め，積極的に部活動に参加させる。</p> <p>② 生徒会・各種委員会活動の活性化を図る。（学校への帰属意識の高揚，高い目標での自己実現）</p> <p>③ 校内外での体験的な活動を通じて，自己肯定感を高めさせるとともに，他者への理解を深めさせ，一人一人の心の成長を図る。</p>
(4) 地域に貢献し信頼される学校づくりを推進する。	<p>① 家庭・地域社会と適切に連携協力して，地域から期待され，信頼される開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>② 学校ホームページやマスコミ等を活用して，学校の教育活動及び生徒の活躍する姿を積極的に発信する。</p> <p>③ 事件・事故の未然防止に努め，安全・安心な学校づくりを推進する。</p>